

令和8年度学校支援ネットワークフォーラム終了！！

日常の授業とは一味ちがった講師の先生や、授業の展開の中でぜひ多様な学びの経験を！

その実現への大きな手掛かりとなる学校支援ネットワークフォーラムが今年も7月29日に開催されました。

多くの先生方や地域・企業等ボランティアの皆さんが参加して下さい、出前授業講師によるプレゼンテーションやブース開設を通じて、先生方と講師（地域・企業等ボランティア）の方たちとの相互交流の場が広がりました。

先生方にとっても講師の方たちにとっても学ぶことの多い充実したフォーラムだったことが終了後のアンケートでも伝わってきます。

ご紹介します。

お忙しい中ご参加くださったみなさま、ありがとうございました。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆



会場全体



開始前のブース

出席者

地域住民、企業・事業所、団体、その他	88
学校関係 小学校	37
中学校	22
指導室・研究所	11
コーディネーター	7
地域教育支援課	6
スカイ学校支援ネットワークセンター	3
合計	174名

アンケートにご協力いただいた方々

当ネットワーク事業に協力している個人・事業所・団体	17
学校関係者（教員・管理職）	22
区職員・教育委員会事務局職員	2
その他の企業・事務所・団体・個人	3
回答合計	44件

回答率 28%



明治



日本カイロプラクティック連合会



すみだ消費者センター 墨田区消費生活相談員

① 学校支援ネットワーク事業報告等について



- ・非常にわかりやすいパワーポイントであったと思います。言いたいことが端的にまとめられていて、良かったです。年に 10 回、20 回、30 回もやっている出前授業はすごいなと思います。
- ・出前授業が生まれた経緯に大変感動致しました。今まで経験した他区ではこのような事業はなかったため、全都、全国にも広がってほしいと強く思いました。出前授業の冊子の分厚さに、毎年熱量を感じ、内容を見て何を活用するかじっくりと考えさせていただいています。
- ・発行されているネットワークニュースの70%が実施されていないことに驚いた。せっかくあるものなので、なぜ活用されなかったのかなど、改善されるといいなあと思いました。
- ・地域の中で教育と産業を結びつけるためにしっかりとプログラムが完成されていることに驚きました。
- ・分野別実施状況を見ると、情報教育の分野が少なく、今後どのような出前授業を行えるか、大切な分野なので、自校でも考えていきたい。

② 実践事例の発表について

- ・発達段階にあわせた社会の仕組みを学ぶ大切な時間を提供しているのではないかと。どの内容も持続可能を重視していることに感銘した。
- ・現場にしっかり取り込まれていること、先生の発表とても良かったです。
- ・活用が素晴らしかったです。児童・生徒に対して、未来を見据えて教育について考えていらして素晴らしいと思いました。
- ・様々な教科と連携し、出前授業が単発で終わらないよう、また、継続的な学びになるしくみを考えるのが大切であると分かった。また、児童の気づきから身近な問いが地球規模へと広がってほしい。また、中学校で「地域の方による面接練習」は効果大なのも実感しました。
- ・“特別”な授業が“特別”なままで終わらず、“日常”にもつなげていく必要が改めて大事だと思いました。



三寺小発表



吾立中発表

- ・2校の発表を通して、出前授業が児童の学びを深める有効な手立てであることを実感しました。今後も、教育活動の充実に向けて、積極的に活用していきたいです。
- ・“いま”の児童・生徒にとってどのような学びが必要かを考えられ、学校支援ネットワークのプログラムをうまく活用できていて素晴らしく感じました。この授業が点に終わらず、事後活動も豊かになるようにしたいとの課題に共感致しました。
- ・どちらも内容深く、単に外部から講師を呼んだというのではなく、よく考えられていた。

③ 事業所の発表について

- ・各事業所の具体的な取り組み紹介は面白かった。学校から申し込みが多い出前授業を知ることができて良かった。
- ・以前より皆さんが工夫して、生徒さんを楽しませているのが分かりました。今後どのような出前授業を実施すればよいか参考にしてみます。
- ・各々の団体の取り組みが興味深かったです。学校のカリキュラムだけでなく、地域の子供会などでも体験できると良いのになと思いました。
- ・熱意が伝わってきてよかった。ブース見学では案内文だけでは分からないことまで聞けて良かった。
- ・体験活動を通して「問い」「課題」往還していくうちに納得が深まることが分かりました。各企業の皆様が素晴らしいアイディアをお持ちで、今の子どもたちにゆさぶりをかけて下さる準備が整っているのも分かりました。
- ・事業所の発表を聞き、ブース見学を通して地域の専門性を生かした学校支援の魅力を感じました。児童の学びを深めるだけでなく、教師自身も楽しみながら学べる機会となるため、今後の教育活動の充実につなげていきたいと思いました。
- ・各発表、ブースでの意見交換、大変刺激になりました。本校、次年度よりサイエンスクラスを新設します。そこでの展開などもイメージしながらお話を伺えました。
- ・各事業所の授業の内容を興味深く拝見しました。事業者の皆様の熱い想いに支えられていることを感じました
- ・幅広い分野の皆様のお話が聞けて参考になりました。小学生、中学生向けに工夫されたプログラムで、魅力ある内容だと感じます。



子どもの危険学プレゼン



ユース・フォー・ヒューマンライツ



生活協同組合コープみらい



ディレクト・フォース



NECネットエスアイ

④ 講演について



講師・日色保氏

- ・現在求められている教育について考える機会となり（大学院生まで）企業と学校を結ぶ大切さも知りました。
- ・他の経済団体との違いの説明あり、学生や教職員の自律的キャリア形成や行動変容の応援を説明することに学びがあった。
「気づきや学び続ける姿勢が大切」ありがとうございました。
- ・経営の視点から、貴重なご講演をいただきました。これから求められる能力は、学校現場でも必要であると常々感じているところであり、育成のための方策をまた考えていきたいと思いました。

- ・日色様をお招きできる「学校支援ネットワーク」のネットワークに感動いたしました！経済界が求める人材と、教育界で育成すべき人材が「合致」していたため、これからさらに連携を図って子どもの成長を助けたいと思いました。
- ・共助成長社会・・・第2次産業の行き詰まりから30年、今後の在り方を考えるヒントになりました。教職員への働き掛けを強化していただくのを期待しています。
- ・これからの社会で必要とされる力についての講演を通して、知識を身につけるだけでなく、自ら考え、他者と協働しながら課題を解決する力を育むことの大切さをあらためて実感しました。日々の授業の中でも、児童が主体的に学び、自分の考えを深められる様な学習活動を充実させていきたいと思いました。
- ・経済同友会が教育について真剣に考え、活動していることを初めて知り、心強く感じました。教職員の特に「職員」にスポットを当てる考え方、学習と実践との往還能力形成の主体が個人になっていくことなど、非常に示唆に富んだお話を分かりやすくいただきました。
- ・経済界の皆様が学校に入っていく、子供たち・学校を共に育てていく、社会に役立つ力を育てていくというお言葉に感動しました。ハローワークも地域の皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思います。

